

単独支援給付金・事業計画書(単独病床機能再編計画)

1 申請者の情報		申請年月日	令和4年12月5日
フリガナ	トクヤマインカイビョウイン	住所・所在地	〒745-8510 周南市東山町6-28
医療機関の名称	徳山医師会病院		

2 病床削減の概要(予定含む)

<許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計※2
1	①平成30年度病床機能報告における許可病床数		135	95	100		330	235
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその許可病床数※1						0	0

※1 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は記載不要
また、令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合も記載不要

※2 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

<稼働病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
2	①平成30年度病床機能報告における稼働病床数		135	95	100		330	235
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその稼働病床数※3						0	0

※3 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は記載不要
また、令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合も記載不要

<病床削減後の許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
3	病床削減後の許可病床数		87	143	76		306	163

<他の医療機関との病床融通>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
4	他の医療機関との病床融通数※4					0

※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の病院等へ病床が移転しようとする場合に記載すること。
また、「(参考)病床移転にかかる概要」に関連する病院等の病床数を記載すること。

<対象3区分から回復期又は介護医療院へ転換した病床数>

		回復期	介護医療院	合計
5	削減病床のうち、回復期又は介護医療院へ転換した病床数	48		48

<年間在棟患者延べ数(人)>

		高度急性期	急性期	慢性期	合計
6	①平成30年度病床機能報告における対象3区分の病棟の年間在棟患者延べ数(人)※5		39,596	23,255	62,851
	②令和2年4月1日時点年間在棟患者延べ数(人)※6・7				0

※5 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)×12÷報告可能な対象期間(月単位)

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成29年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

※6 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は記載不要
また、令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合も記載不要

※7 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がある場合は、変更後令和2年4月1日までの在棟患者延べ数を※5を参考に算定して計上すること(令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合は記載不要)。

3 病棟別内訳(予定含む)

【変更前の状況(R2.4.1まで)】

変更前	病棟別内訳 (病床機能報告から転記)	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	稼働病床数
		①2階病棟	地域包括ケア病棟入院料2	回復期	45床	45床
		②4階病棟	急性期一般入院料6	急性期	45床	45床
		③5階病棟	急性期一般入院料6	急性期	42床	42床
		④6階病棟	急性期一般入院料6	急性期	48床	48床
		⑤西2病棟	療養病棟入院料2	慢性期	50床	50床
		⑥西3病棟	回復期リハビリテーション病棟入院料2	回復期	50床	50床
		⑦西4病棟	障害者施設等入院基本料	慢性期	50床	50床
計					330床	330床

※ 平成30年度の病床機能報告を転記することを原則とするが、平成30年度の報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数等に変更がある場合は変更後の病床数等を記載すること。ただし、令和2年4月1日時点で変更があった場合は、変更前の病床数等を記載すること。



【令和4年度】

R4 年度	病棟別内訳	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
		①2階病棟	地域包括ケア病棟入院料2	回復期	45床	年 月
		②4階病棟	急性期一般入院料5	急性期	45床	年 月
		③5階病棟	急性期一般入院料5	急性期	42床	年 月
		④6階病棟	地域包括ケア病棟入院料2	回復期	48床	令和5年3月
		⑤西2病棟	療養病棟入院料2	慢性期	34床	令和5年3月
		⑥西3病棟	回復期リハビリテーション病棟入院料2	回復期	50床	年 月
		⑦西4病棟	障害者施設等入院基本料	慢性期	42床	令和5年3月
計					306床	



【令和5年度以降】(変更がない場合や計画が未定の場合は、「以後変更なし」「未定」等と記載のこと)

	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
R5 年度	病棟別内訳	以後変更なし			年 月
	計				床
R6 年度	病棟別内訳				年 月
	計				床
R7 年度	病棟別内訳				年 月
	計				床

※病棟別内訳の数が不足する場合は適宜追加すること。
 ※計画完了時には「休棟等」がすべて削除され、存在しない状態となっていること。

病床削減が地域医療構想の実現に資するものであることの説明資料

対象医療機関名 地域医療支援病院オープンシステム徳山医師会病院

1 地域の状況		
地域の現状と課題	令和3年度病床機能報告によると、周南医療圏では、回復期の病床が極端に少ない状況です。周南医療圏では、今後、人口が減少することが見込まれるが、高齢者の人口に占める割合は増加すると見込まれます。 それに伴い、高齢者の入院患者も増加すると見込まれ、急性期退院患者や慢性期患者の在宅復帰に向けたリハビリ等を地域で円滑に受け入れることができるよう、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟等の整備が必要とされています。	
2 自施設の状況		
自施設の現状(変更前)	周南医療圏の二次救急及び三次救急や高度急性期医療については、徳山中央病院が大きな役割を担っていますが、当院は地域医療支援病院としての役割を担っているほか、ケアミックス型病院として、日常の急性期医療から、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟その後の回復期医療、慢性期医療までの診療を行っています。 また、オープンシステムを採用し、緊密な病診連携の下、在宅重視で地域に貢献しています。ここ数年、地域の診療所減少により手術件数や急性期の患者が減少し、リハビリ等の回復期を必要とする患者が増加しています。	
病床数の見直し	見直しの考え方	将来の医療需要や当院の地域において今後担うべき役割を踏まえ、地域医療支援病院としての役割を継続的に果たしていくとともに、オープンシステムの有効性を維持し、圏域の回復期機能の地域における役割を果たしていくため、ケアミックス型病院としての機能を維持し、圏域の実情に応じた回復期の増床、急性期及び慢性期の減少を行います。 具体的には、近隣の医療機関と重複する慢性期病床を24床削減し、この地域に不足している回復期病床を既存の急性期病床48床から転換することにより、この地域に過剰とされている急性期病床を減らし、不足している回復期病床を増やします。
	対象の病棟・病床の概要	西2病棟 療養病棟入院基本料 急性期の治療を終えた後、慢性的に入院医療を必要とする患者 西4病棟 障害者施設等入院基本料 パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症等の難病患者
	入院患者への対応	西2、西4病棟共に削減予定日までに患者数を減らしていく調整を行う予定
3 病床削減が地域医療構想の実現に資するものである理由		
理由	今後、当院の役割や機能として求められてくる回復期が充足されるとともに、周南医療圏で過剰な急性期と慢性期を減らし、不足している回復期を整備することにもなり、地域医療構想の実現に資するものであると考えています。	

【参考】対象区分別の削減(計画)病床数

対象区分	R4		R5		R6	R7	計
		変更時期		変更時期			
高度急性期							
急性期	△ 48	R5.3					△ 48
慢性期	△ 24	R5.3					△ 24
合計	△ 72						△ 72

※急性期△48は回復期に転換予定のため、補助金の支給対象外

【参考：R3病床機能報告(周南 保健医療圏の状況)】

病床区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・廃止予定	介護保険施設移行予定	合計
報告	①R3(2021)現状	463	900	695	1,115	9		3,182
	②R7(2025)予定	463	876	691	1,030	71	51	3,182
構想	③R7(2025)必要数	223	745	842	737			2,547
④構想との差(R3)(①-③)		240	155	△ 147	378	9		635
⑤構想との差(R7)(②-③)		240	131	△ 151	293	71	51	635